

【オンライン】JavaとJUnitによる品質向上と効率的なテスト設計の基礎

「オンライン（Zoom）」開催研修です。



アプリケーションの開発において、テストは品質管理上、避けては通れない工程です。しかし、テストをメイキング終了後に実施していたのでは、設計の穴やお客様との認識齟齬が判明した場合の手戻りがクリティカルなダメージを生み出す場合も多いのだ、ということを、皆さんは、骨身に染みておわかりのことと思います。

テストの位置づけを語るモデルはたくさんありますが、一番わかりやすいのはV字モデル(当日図示)です。

本研修では、各開発工程と、テストのつながりを理解した上で、効率よく、且つ堅牢なアプリ開発を実現するための、開発とテストの進め方を学びます。

「設計段階からテストを睨むこと」「テストで判明した不具合が何故起こったのかを分析し、フィードバックすること」この二つが、皆さんの開発を改善するためのバイタルなポイントとなります。

設計段階からテストを意識するための、資料作成フォーマット例をご紹介します、サンプルテスト実施、テスト作成の演習を通じて、実務に役立つ知識とスキルを、一緒に身に付けましょう。

◎この研修は、全国オンライン共同開催です。

コース詳細	
研修講座コード	XS002
受講料	¥40,700
開催予定	2日間（8時間） 2026-09-10(木)～2026-09-11(金)
開講時間	13:00～17:00
前提知識	Eclipseを使用してJava言語による開発を行っている方
対象者	品質向上と、テスト設計を効率的に行えるようになりたい方 メイキングフェーズ後の「テスト地獄」負荷を軽減したい方 網羅的なテスト設計と品質向上を効率的に目指したい方
到達目標	<ul style="list-style-type: none">・実務で再現可能なテスト設計手法を学び、設計段階から品質を高める視点を養う・単体テストで適切に抑えるべき粒度を把握する・「テストはコーディング後に行うもの」という従来の発想から脱却する・設計・実装・レビュー・テストが連動する開発プロセスの確立を目指す
講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 松田 睦
備考	こちらのコースはオンライン（Zoom）開催研修です。 オンライン研修の受講方法について

研修内容

<1日目>

しっかりした単体テストが全ての基盤

V字モデルについて

実務における効率的且つ効果的なテスト設計

JUnitなどで使用される assert 系メソッドの目的と使い方を理解し、テストコードにおける正しい検証の書き方を学ぶ

【演習】：単体テストの確認と自作

配布された単体テストの内容を確認し、実施する

簡単な単体テストを2つ以上自作して実施する

<2日目>

Eclipseを用いた単体テストの実施と、カバレッジの視覚的確認を通じて、開発現場でのテスト運用を体感する

単体テストの実施とカバレッジの確認

適切な単体テストの件数・網羅率(C0・C1・C2～)

C0：命令網羅（Statement Coverage）すべての行が1回以上実行される

C1：分岐網羅（Branch Coverage）if文のtrue/falseが両方通るようなテスト

C2：条件網羅（Condition Coverage）if (A && B) の A=true, B=false など組み合わせ全通りチェック

キロステップ当たりの適切なエラー件数の指標と自プロジェクトへの反映

境界値チェックとモンキーテストの概要と考え方

計画的に行うカオス探索としての境界値チェックとモンキーテスト

テスト設計の落とし穴を逆照射する存在としての重要性

【演習】：カバレッジ向上と結合テスト設計

Javaコンソールアプリの単体テストでカバレッジを確認

カバレッジを100%にするためのテストケース追加演習

コンソールアプリの結合テストを作成し、カバレッジ100%にする境界値チェック、モンキーテストのテストケースを網羅する

※進捗状況により変更となる場合があります。

お問い合わせ先

(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部研修課

営業時間: 平日 9:00～17:00

お問合せ: <https://www.deos.co.jp/contact>

電話：（０１１）８１６－９７００